

コロナ禍明けの敬老式

敬老の日
敬老の日にあわせて県の高齢化率が発表されました。7月1日時点におけるにかほ市の65歳以上の高齢者の割合、いわゆる高齢化率は40・9%で、県全体の高齢化率39・3%を上回りました。ですが、県内25市町村のうちでは19番目と比較的高齢化率の低い地域ではありません。ちなみに、県内でいちばん高齢化率が低いのは秋田市の32・6%です。若者の多くが秋田市に集中していることがわかります。ただ、その秋田市でも全国平均29・1%を大きく上回っているのが現状です。

コロナ禍が明け、市では4年ぶりに9月下旬から10月中旬にかけて5回にわたって敬老式を開催しました。75歳以上の皆さんを案内させていただき、649名を対象者の12・4%の方々に参加していただきました。この参加率が高いか、低いかの議論はありますが、コロナ禍明けということもあり、まだ大人数が集まる場所にでかけることをためらう人もいるかと思われ、この範囲内ではありましたが、参加率も予想の範囲内ではありました。ただ、コロナ禍前からも敬老式への参加率は年々減少してきていましたので、コロナ禍の余波がさらに参加率を押し下げたのは確かだと思えます。

敬老式の様子
そんな中で開催された敬老式。当日の様子は会場によってさまざまではありません。

敬老の背景
市では敬老式の実施について8年前から検討を重ねてきました。従来の方法でやるべきか、新たな方法にしていくべきか、さまざまな議論が交わされてきました。現在、県内の多くの自治体が、行政主催の敬老式を取りやめ、補助金を交付しながらの町内会等による地域イベント

したが、共通していたのはいずれの会場も活気に満ちていたということです。式に出席された皆さんのほとんどが、男性はスーツ、女性はおしゃれ着といった出で立ちで、樟脳(しょうのう)のにおいを漂わせ、久しぶりにダンスやクローゼットからだして、おめかしして来られたんだなどわかる方もいました。ある付添いの民生委員の方が言っていました、「1カ月も前から敬老式を楽しみにしていて、その話ばかりする人もいるくらいですよ」というように、参加者の多くが非日常の晴れの日として敬老式を楽しみにされていたのだと思います。

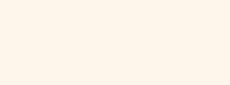
そもそも高齢者の皆さんは歳を重ねるごとに外出する機会が少なくなり、そこに来るとのコロナ禍です。多くの高齢者の皆さんの交流の場はほぼゼロになっていたと思います。会場のあちこちで、「久しぶりなこと」「なんとした」「元気が良かった」といった会話が聞かれました。年一回の敬老式でしか会えない人たちがいるということだけでも敬老式をやる価値はあったと感じています。

目に見えない大切な何か
今回の敬老式では、ほんとうに多くの参加者の皆さんから「敬老式やってくれてありがとう」との声をいただきました。特に、平沢の敬老式で締めあいつをされた老人クラブ連合会会長の言葉は、もの見方や考え方は一つではないという言葉をあらためて感じさせてくれました。このことのできない大切な何かがあるということを教えてくださいました。

今回の敬老式は、人生の諸先輩方の元気の良さと年季の違いを強く感じさせてくれる私にとって意義深いものでした。



にかほ市長
市川雄次



にかほ一むる一む
新NikaHomeroom

自分たちのアイデアを楽曲制作ソフトでまとめ上げる生徒たち

Vol. 3 にかほ市を盛り上げる楽曲の制作

仁賀保高校の情報メディア科(3年)では、にかほ市の魅力を多くの人に伝えることを目的に、「にかほ市」をPRする楽曲の制作を行いました。この取組みは、仁賀保高校特有の「地域と連携した授業」や総合的な探究の時間における「にかほ市の魅力」の学習、恵まれた学習環境を活用した「音作り」の学習などを総合的に活かしていくかたちで進めました。

まずは、曲の題材設定を行いました。個人個人で、にかほ市の魅力に関連したテーマを設定し、例えば「水」に視点を置いた作品では、にかほ市の水に関連した魅力を挙げ、鳥海山、元滝伏流水、獅子ヶ鼻湿原などキーワードを10個選び「生成AI(ChatGPT)」で歌詞の土台を作りました。それらをもとに歌詞の制作、さらに「VOCALOID5」へ歌詞を入力し、音程を調整しました。また、伴奏については音楽科教諭とイメージを共



テーマ設定の基になった総合的な探究の時間の様子



VOCALOID5で楽曲を制作する様子

有しながら制作し、PR楽曲を完成させました。楽曲の制作をとおして、改めて地域の自然環境や観光資源の豊かさを感じることができたとともに、さまざまなかたちで市内外へにかほ市をPRできるのではないかと考えました。自分たちの学習の成果を地域貢献に活かし、これからは仁賀保高校が地域と連携するためにも積極的に取り組んでいきたいと思いました。

今後の展望として、にかほ市民文化祭への楽曲の出演や「にかほ市の魅力」楽曲集の制作を考えたいです。ぜひ、私達が制作した楽曲を聴き、にかほ市を感じてみてください。



秋田県立
仁賀保高等学校

当校では、ボランティア活動による地域貢献、情報発信力強化による地域の活力向上など、地域課題の解決に向け「自分たちのまちを、未来を、楽しく面白く」していくためのアイデアを形にしていく取り組みを行っています。

